

2019年(令和元年)11月28日(木) NO 140号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆ 商号	株式会社 ケイプロ	https://k-puro.co.jp
◆ 屋号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆ 本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆ 千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://kawaguchi-morning.jp/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	https://saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】

冷泉家時雨亭文庫

TOHOAUTO INC. TOHO



我が国一の歴史と実績 since 1957
公益財団法人 アイメイト協会

杉山歯科医院
SUGIYAMA DENTAL CLINIC

今月の言葉 「意識してありがとう」



いつも感謝の心でいるようにすると、心が落ち着いて、周囲の人に温かく接することができ、何事にも前向きに受け止められるようになります。

人間関係も人生も、自分の心のはたらかせ方次第でプラスにもなるのです。

感謝の心になるといっても、すぐには難しいかもしれませんが、まずは何かうれしいことがあったら「うれしい」「ありがとう」と、意識して思ったり、口にしたりしてみてはいかがでしょうか。心のはたらきは自由自在です。

お互いに「ありがとう」という気持ちを大切にしたいものです。

今月の良い話

なぜ社員は働かなくなるのか

もう何度も申し上げていますが、会社と社員は同じ方向を向いていません。

この事実をそろそろ受け入れたほうがいいでしょう。

会社が儲かれば社員も潤う。会社が育てれば社員はお返しをする。

会社に採用されればそこに骨を埋める。そういった時代は終わったのです。

“ファミリー企業”だと公言したところで現実には家族ではありません。

自分の子供に譲るように、株や資産を社員に無償で与える経営者がいるのでしょうか。

そこにあるのは無償の愛ではなく、損得をベースにした雇用関係です。

赤字を垂れ流し続ける社員が可愛い経営者などいません。

一流大学を出て、大企業の社員をやめて、中小企業の経営を担う後継者がいるのは、それが親の会社だからです。



損得を超えて、本当の家族のように、みんなで一丸となって会社を発展させる。

とても素晴らしいスローガンだと思いますが、自分自身はどうでしょう。

自社の利益を捨てて、国のために生きていけるのでしょうか。そんなことは誰にもできないし、できないことを責められるべきではない。

社員同士も、国民同士も、基本的には他人なのです。

家族ではなく、親戚でもなく、損得でつながる関係。

冷めた関係だと言いたいものではありません。対等な関係だと言っているのです。

どちらが偉いわけでもなく、どちらに恩があるわけでもなく、ギブアンドテイクで成り立つ関係。それが会社と社員です。

両者において最も大切なのはバランスです。

もちろん、どちらもギブする以上にテイクが欲しい。

それゆえ会社が求める人材は明確です。

自立している社員、大きな黒字をもたらす社員、自分の頭で考える社員、責任感の強い社員、会社の利益を最優先する社員です。

でも冷静に考えてみるとこの関係は完全にバランスを欠いています。

ゆえに長続きしません。

会社がテイクを優先するように、社員の側もテイクを優先するからです。

結果、会社に居て得する人が残っていきます。

ぶら下がり社員、仕事ができない社員、赤字を出し続ける社員、責任感のない社員、自分の利益を最優先する社員。それが当然の帰結なのです。

////////////////////////////////////

安田 佳生 (元7イキューブ 社長/現ブランドファーマーズ・インク社長)

日経トップリーダー11月号

今月の良い話

なぜ成功する人としらない人がいるのか

ある時、弟子が師の道元に聞いた。

「人間は皆仏性を持って生まれていると教えられたが、仏性を持っては
ずの人間になぜ成功する人としらない人がいるのですか」

「教えてもよいが、一度自分でよく考えなさい」

道元の答えに弟子は一晩考えたが、よく分からない。

翌朝、弟子は師を訪ねふたたび聞いた。

「昨晚考えましたが、やはり分かりません。教えてください」

「それなら教えてやろう。成功する人は努力する。成功しない人は努力しない。その差だ」

弟子は、ああ、そうか、と大喜びした。



.....
だがその晩、疑問が湧いた。仏性を持っている人間に、どうして努力する人、しない人が出
てくるのだろうか。翌日、弟子はまた師の前に出て聞いた。

「昨日は分かったつもりになって帰りましたが、仏性を有する人間に、どうして努力する人、
しない人がいるのでしょうか」

「努力する人間には志がある。しない人間には志がない。その差だ」

道元の答えに弟子は大いに肯き、欣喜雀躍家路につく。

.....
しかしその晩、またまた疑問が湧いた。

仏性のある人間にどうして志がある人とない人が生じるのか。

弟子は四度師の前に出て、そのことを問うた。道元は言う。

「志のある人は、人間は必ず死ぬということを知っている。志のない人は、人間が必ず死ぬ
ということを本当の意味で知らない。その差だ」

道元の逸話である。この逸話を彷彿とさせる道元の言葉が、『正法眼蔵随聞記』にある。

.....
「道を得ることは、根の利鈍にはよらず、人々皆、法を悟るべきなり。精進と懈怠とにより
て、得道の遅速あり。進怠の不同は、志の至ると至らざるとなり。志の至らざること、
無常を思わざる故なり。念々に死去す。畢竟じて且くも留まらず。暫く存ぜる間、時光を
空しくすごすことなかれ」

(道を得るかどうかは生まれつきの利発さや愚かさによるものではない。

修行する人は皆必ず悟りに達することができる。ただ一所懸命になって精進する人と、
怠けてやる人との間には当然早い遅いの差が生じる。精進するか怠けるかは志が切実かど
うかの違いによる。志が切実でないのは、無常を思わないからだ。人は刻々と死につつま
る。こうして生きている時間を大切に、自分を磨いていかなければならない)

切に生きるとは、ひたすらに生きるということである。

いまここの一瞬一瞬をひたむきに生きるということである。

小我を忘れ、何かに懸命に打ち込むことである。その時、生は本然の輝きを放つ。

////////////////////////////////////

2007年6月号より

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO140 自然災害種別

年次	区分 災害種別	自然災害					
		台風	大雨	強風	地震 火山	津波	高潮
H26	発生件数						
	死者・行方不明者数	13	89	0	63	0	0
	負傷者数	335	76	42	168	0	0
H27	発生件数						
	死者・行方不明者数	9	3	2	0	0	0
	負傷者数	341	12	93	21	0	0
H28	発生件数						
	死者・行方不明者数	31	8	3	50	0	0
	負傷者数	184	28	234	2,854	0	2
H29	発生件数						
	死者・行方不明者数	15	43	1	0	0	0
	負傷者数	347	57	152	5	0	0
H30	発生件数						
	死者・行方不明者数	20	230	3	47	0	0
	負傷者数	1,385	407	75	1,248	0	0

自然災害による人的被害が年々増加しています。

自然災害の区分は上の6つに定義されます。

H28年の地震被害は4月に発生した熊本地方地震が主となります。死者数が50名と少ないようですが、これは警察が検視により確認した数であり、市町村が災害弔問金の支給に値すると認めた実際数は215名にもものぼります。

H30年の台風被害は台風21号による関西空港の滑走路浸水やタンカー衝突は記憶に新しいところです。また、同年の地震被害は北海道胆振東部地震によるものがほとんどでした。本年の千葉県で発生した台風による強風や大雨による甚大な被害はこれからは地域を問わず発生する恐れがあります。特に大雨による河川の氾濫などは死に直結しますので要注意です。

プロ太の小話集 NO140 『リンカーン』

スマホゲームばかりやっている息子に、お父さんは勉強させようと偉い人の話をしました。
父 「フランシスコ、リンカーンって知ってるだろ？リンカーンがお前の年の頃には、暖炉の明かりで勉強してたんだ。それぐらい勉強したんだぞ。」

息子「ふうん。パパ、ボクも言っている？」

父 「なんだ？」

息子「リンカーンはパパの年の頃には、アメリカの大統領だったよ。」

////////////////////////////////////

今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

安田さんの記事は読んでいじめはじめは違和感を感じましたが、もう一度読み返すとなかなか的を得た意見だと思いました。自分自身のサラリーマン時代を省みると、確かにそうであったと思ひます。なかには伊那食品のように社員のほとんどが生き生きと生きがいを持って働いている会社もありますが、それはほんの一握りでしょう。現実の辛辣な意見を受け止めながら、社員が生き生きと働ける理想の職場に少しでも近づけるよう頑張っていきたいと思います。



注：プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)